

第2章 健康・福祉の分野									
第1節 保健福祉推進体制の充実									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
地域健康福祉連絡会の設置・運営	保健福祉局 福祉総務課		市民の福祉ニーズに応じた適切なサービスが提供できるよう、民生委員や食生活改善推進員、社会福祉法人などによる地域健康福祉連絡会の設置を促進し、地域における健康福祉推進の環境を整備します。	地域健康福祉連絡会運営 21地区 / 39地区 (地区社会福祉協議会)	33地区 / 39地区 (地区社会福祉協議会)	地域福祉連絡会の設置を促進するため、地域福祉行動計画策定支援、地域健康福祉推進員配置、地域福祉活動助成、地域福祉活動拠点の整備を支援しました。22地区の活動拠点が整備されました。(うち、3地区の行動計画が策定中です)。		-	
福祉のまちづくりの推進(再掲4章1節)	保健福祉局 福祉総務課	政策局 企画調整課	だれもが住みよい福祉のまちづくり条例に基づき、公共施設、交通関連施設などのバリアフリー化を推進します。また、ユニバーサルデザインの基本的考え方による取り組みに向けた推進指針の検討を進めます。	推進	推進	福祉のまちづくり推進協議会を中心として、福祉のまちづくりに関する総合的、計画的な推進施策を策定するための基本的考え方について答申内容をまとめ、これを受け、年度内に福祉のまちづくり推進指針を策定しました。また、具体的に推進するモデル地区については、「浦和駅周辺地区」を当面の推進地区として選定を行いました。		ユニバーサルデザイン 37 ン推進体系を整備します。	
交通バリアフリーの推進(再掲4章1節、2節)	都市局 都市施設課		交通バリアフリー基本構想に基づき、駅とその周辺におけるバリアフリー化を推進し、高齢者や身体障害者等の移動の円滑化を図ります。	推進	推進 (市内全駅)	与野駅東口エレベーター整備及び大宮駅西口エレベーター整備を行いました。また、西浦和、南与野、大和田駅改札内にエレベーター設置補助金を交付しました。また、バリアフリーに関する理解を深めてもらうため、障害者団体をはじめ関係者から成る実行委員会形式による交通バリアフリーフェスタ・2005の開催や、バリアフリーマップ作成に係るまちあるき点検を実施しました。		-	

「進捗状況」欄について

計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。

は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む)。

は、順調に進捗。 は、進捗が遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

第2章 健康・福祉の分野									
第2節 子育て支援の充実									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
乳幼児健康診査の充実	保健福祉局 保健所保健 総務課		乳幼児の健康の保持増進や育児支援、虐待の早期発見のため、乳幼児健康診査の充実を図るとともに、健康診査後の保健指導や相談など、医療機関と連携した支援体制を充実します。	推進	充実	乳幼児健康診査を実施しました。 4か月児 10,129人(92.1%) 10か月児 10,260人(92.4%) 1歳6か月児 10,347人(90.6%) 3歳児 9,244人(79.4%)		-	
子育て支援ネットワーク事業	保健福祉局 子育て支援課		子育てや子育てにかかわる様々な情報や支援策を保護者や子どもたちが効果的、効率的に活用できるよう、児童福祉関係者や関係機関、学識経験者、市民によるネットワークを構築します。	推進	充実	子育て支援ネットワーク全体会議を1回開催し、ワーキンググループを3回開催しました。		-	
地域子育て支援センター整備事業	保健福祉局 子育て支援課	保健福祉局 保育課	育児不安などの相談指導や子育てサークルの育成支援など、地域の子育て家庭に対する支援を進めるため、地域子育て支援センターを拡充します。	単独施設 2か所 保育所併設施設 23か所	4か所  32か所	単独型2か所、保育所併設型6か所の計8か所の新規開設を行い、単独型4か所、併設型24か所に拡充しました。 また、平成18年度に8か所の地域子育て支援センターを開設するための準備を進めました。		57 保育所併設型の地域子育て支援センターと駅前の利便性の高い場所に単独型の子育て支援センターを整備します。	
ファミリー・サポート・センターの充実 (再掲 5章3節、7章2節)	保健福祉局 保育課		仕事と育児の両立を支援するため、援助を受けたい会員、援助をする会員からなる互助制度であるファミリー・サポート・センターの運営を充実します。	会員数2,359人 活動件数12,293件	3,500人 18,450件	新たに地域情報誌等に会員の募集記事や援助活動の状況を掲載をした他、退職者説明会の会場やボランティア団体、ふれあい館等で資料を配布し会員募集等の啓発を行い、会員数2,628人、活動件数9,374件となりました。合併により岩槻区の保育に関する利便性が良化したことで、岩槻区を中心に活動件数は減少しましたが、会員数は着実に増加しました。子育て支援に関する各種事業の整備に伴い、ファミリー・サポート・センターの活動件数は減少傾向にあります。今後、提供会員の増加に向けた子育てweb等の電子情報の活用等を通し事業の充実を図ります。		54 ファミリー・サポート・センターの運営を充実します。	
児童センター整備事業	保健福祉局 子育て支援課		児童の健全な育成を図り、子育てサークルや子ども会など地域組織活動の支援を行うため、児童センターを整備します。	児童センター 16か所	19か所	児童センター未整備区である浦和区に平成20年度開設に向け、「(仮称)仲本地区児童・高齢者複合施設整備事業」として、平成18年度予算化を図り、また緑区についても候補地の調査・検討を行った。		-	
子育て支援総合事業	保健福祉局 子育て支援課		子育ての負担感や不安感を解消するため、相談などに対応する子育て支援総合コーディネーターを配置するとともに、子どもに関する情報を一元的に把握し、紙・人・ITを媒体として情報発信していく体制を整備します。	推進 子育て応援ブックの発行	推進 (仮)さいたま子育てWeb開設(17年度) 子育て応援ダイヤル開設(17年度)	さいたま子育てWEBの開設や子育て応援ダイヤルの開設を行いました。また、子育て応援ブックの改訂版の発行や子育てきっかけ応援ブックを新規発行しました。		-	

「進捗状況」欄について  
計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。  
は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、  
は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

第2章 健康・福祉の分野									
第2節 子育て支援の充実									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
保育所の新設整備事業	保健福祉局 子育て支援課		待機児童の解消のため、認可保育所の整備や、保護者の利便性の向上のため、送迎保育ステーションの設置を促進します。また、幼稚園・保育所一体施設の整備を促進します。	認可保育所定員 9,383人 幼・保一体施設定員 0人 送迎保育ステーション 0か所	9,900人  300人  1か所	新規開設認可保育所として8か所(定員495人)及び施設改修1か所(定員20人増)で、合計515人の定員拡大を行い、認可保育所定員は9,443人になりました。また、平成18年4月新規開設認可保育所4か所(定員285人)の整備を行いました。 駅前保育のあり方について研究を行い、ナーサリールームの設置許可条件の緩和等についての検討を行いました。		60 保育所の新設整備事業を進めます。  61 幼稚園の余裕教室等を利用した幼保一体施設の整備を進めるとともに、幼保一元化を図っていきます。	
放課後児童健全育成事業	保健福祉局 子育て支援課		保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学生の放課後の健全育成を図るため、待機児童解消や保育環境の向上などの取り組みを充実します。	小学1～3年生の利用児童数 3,914人 施設数 119施設	5,350人  132施設	新規4か所(指扇、植水第二、片柳、日進第二)の開設と、施設移転に伴う2か所(大久保東、栄和)の整備を行い、小1～3年生では全体で4,663人の児童を受け入れることができました。 また、平成18年4月の新規開設に向け3か所(仲本、向、川通)の整備と施設移転に伴う1か所(常盤)の整備を行いました。		62 小学1年生から3年生までの待機児童対策を最優先に、待機児童の解消を図ります。	
ナーサリールーム(認定保育室)事業	保健福祉局 保育課		認可保育所に準じた基準を満たした認可外保育施設を、ナーサリールームとして認定・支援し、保育所の新設整備などとあわせ、待機児童の解消と多様な保育ニーズへの対応を図ります。	ナーサリールーム定員 612人  推進	推進	ナーサリールームとして、新たに3施設を指定し、定員は652人となりました。		-	
児童虐待防止対策事業	保健福祉局 子育て支援課 保健福祉局 保健所地域 保健課	保健福祉局 児童相談所	児童虐待の発生予防・早期発見・早期対応のため、ハイリスク家庭への訪問指導や各種相談事業などを行うとともに、関係機関などとの連携強化を進めます。また、子どもの健やかな育成のための憲章等の制定について検討します。	推進	充実	「4か月児健診未受診フォロー」「子ども虐待予防家庭訪問事業」を平成17年7月から、「24時間虐待電話相談事業」を平成17年6月から実施しました。また、虐待防止ネットワーク会議、家族支援事業、児童虐待発生予防親子支援事業等を従来からの事業として実施しました。		63 子供の人権が尊重され、のびのびと心豊かに成長できる社会づくりを目指します。	
小児救急医療体制の充実・強化(再掲2章5節)	保健福祉局 健康増進課		(仮)さいたま市民医療センターによる小児二次救急医療の強化や、自治医科大学と他の医療機関との周産期医療における連携強化を図るなど、小児救急医療体制の充実を図ります。	推進	充実	平成17年4月から、浦和休日急患診療所の平日夜間診療時間を30分延長しました。 また、今後の医療体制の方向性を検討するため、医療関係者等で構成する「医療体制検討会」を平成18年3月に立ち上げ、小児救急電話相談などの具体的方策の検討を開始しました。 (仮)市民医療センター及び自治医科大学附属大宮医療センター南館は、平成20年度開設に向け準備を進めています。		8 小児救急医療に適切に対応していくため、更なる診療体制の充実に向けた取り組みを開始します。  36 小児救急医療に適切に対応していくため、医療機関の機能に応じた役割分担により、医療体制の充実を図ります。	

「進捗状況」欄について  
計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。  
は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)  
は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

第2章 健康・福祉の分野								
第3節 豊かな高齢期の実現								
事業の名称	担当課	事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
シルバー人材センターの充実・シルバーバンク事業(再掲5章3節、7章3節)	保健福祉局 高齢福祉課	高齢者の就業機会を確保し、活力ある新しい地域社会づくりを目指すシルバー人材センターの充実と、団塊の世代の社会参加を図るシルバーバンク事業を実施します。	会員数 3,395人	充実 シルバーバンク の創設	シルバー人材センターにおいては、就業検討委員会の実施、情報提供体制の充実の一環としてホームページの整備等を行いました。また、岩槻市シルバー人材センターと合併し、会員数は4,431人となりました。シルバーバンク事業においては、シルバーバンクのコンセプト確立に向け、他市の状況を調査・分析するとともに、シルバー人材センターを始めとした関係団体との意見交換会を行いました。		47 団塊の世代の高齢化に伴い、社会参加の機会を拡充を図るシルバーバンク事業を実施します。	
(仮)高齢者生きがい活動センター整備事業	保健福祉局 高齢福祉課	北区内にある大宮火葬場跡地に、シルバー人材センターの作業場であるシルバーワークプラザや植竹老人憩いの家などを移転拡充した(仮)高齢者生きがい活動センターを整備します。	検討	完成 (19年度)	(仮)高齢者生きがい活動センターの基本設計及び実施設計を予定どおり完了しました。また、旧大宮火葬場についても、地質調査及び埋設物調査並びに解体工事を予定どおり完了しました。		39 旧大宮火葬場の跡地に、(仮称)高齢者生きがい活動センターを整備します。	
居宅介護サービスの充実	保健福祉局 介護保険課	介護支援専門員協会やサービス事業者連絡協議会と連携を図るとともに、介護相談員が介護サービス提供の場を訪ね、利用者の不安の解消を図り、在宅サービスの質の向上と量の確保を進めます。	介護相談員 0人	20人	介護サービスの質の向上と量の確保を図るため、平成18年度から実施する介護相談員の派遣を行う実施要綱等の検討を行った。		-	
介護保険関連施設等の整備促進	保健福祉局 介護保険課	在宅での介護が困難な高齢者が、必要なサービスを受けられるよう、民間事業者による介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)や介護老人保健施設の整備を促進します。	施設整備 特養1,487床 老健1,148床	2,978床 2,298床	平成18年3月末現在で、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)については、5施設の新設及び1施設の増床で合計421床が整備され、介護老人保健施設についても、4施設を新設したことで合計550床の整備がされました。施設整備済み 特養1,908床 老健1,698床		41 介護保険関連施設等の整備を推進します。	

「進捗状況」欄について  
 計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。  
 は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、  
 は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画  
 ~マニフェスト工程表~の内容です。

第2章 健康・福祉の分野									
第3節 豊かな高齢期の実現									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
(仮)西部地区高齢者総合福祉施設整備事業	保健福祉局 高齢福祉課		西部地区において、特別養護老人ホームなどを持つ新たな高齢者総合福祉施設の整備を促進します。	促進	開設	民間活力を導入して、老朽化した市立特別養護老人ホーム原殿園を移転・改築して西部地区に高齢者総合福祉施設を建設するため、平成17年度は、移転・改築の主体となる社会福祉法人を原殿園の指定管理者に指定するとともに、移転用地となる土地を、市土地開発公社から買い戻しました。		-	
高齢者地域ケア・ネットワークの構築	保健福祉局 高齢福祉課		高齢者が地域で主体的に生活できるよう、在宅介護支援センターや地域包括支援センターを整備するとともに、地域健康福祉連絡会と協力・連携し、生活を支援するネットワークを構築します。	在宅介護支援センター 地域型 50か所 基幹型 3か所	52か所 3か所	第3期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に重点プログラム[高齢者地域ケア・ネットワークの推進]を盛り込み、市社会福祉協議会や在宅介護支援センターなどの関連機関と協議を実施し、西区及び緑区内にモデル地域の候補を選定しました。		46 日常的な生活支援を行う高齢者地域ケア・ネットワークを構築します。	
高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業(再掲6章3節)	建設局 住宅課		高齢者世帯(60歳以上の単身・夫婦世帯)を支援するため、高齢者が安全に安心して居住できるようバリアフリー化され緊急時対応サービスの利用が可能な優良な民間賃貸住宅を認定し、供給促進のための入居者支援(家賃補助)を行います。	供給戸数 13戸	85戸	供給戸数が30戸に達し、それらに対し家賃対策補助を行いました。		-	

「進捗状況」欄について

計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。

は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む)。

は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成17年度実施状況一覧表

第2章 健康・福祉の分野									
第4節 障害者の福祉向上									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
障害児療育システム構築事業	保健福祉局 障害福祉課		桜区に(仮)田島2丁目療育センターを設置し、療育の待機児の解消を図るとともに、障害の早期発見・早期療育の体制強化を進めます。	療育待機児童数 70人	0人	平成19年4月の開設に向け、建設工事に着手し、予定どおり作業を進めました。		桜区田島2丁目に 38(仮)療育センターを 設置します。	
在宅福祉サービスの充実	保健福祉局 障害福祉課		在宅障害者が地域の中で安心して快適な生活を送るために必要な、ホームヘルプサービスやデイサービス、短期入所などのサービスを拡充します。	ホームヘルパー派遣時間 451,109時間 デイサービス 5か所 短期入所 8,739日	478,000時間 6か所 7,951日	在宅障害者が地域の中で安心して快適な生活を送るために必要な、ホームヘルプサービスやデイサービス、短期入所などのサービスを拡充しました。 ホームヘルパー派遣時間 436,385時間 デイサービス 5か所 短期入所 8,467日		-	計画目標の現況(H17年度当初)欄の数値は、17年度実績の見込みの数字です。平成16年度末の実績は、ホームヘルパー派遣時間 368,878時間、デイサービス 9か所、短期入所 57か所でした。
グループホーム・生活ホームの設置促進	保健福祉局 障害福祉課		自立生活を望む障害者のための生活支援体制を整えたグループホーム・生活ホームの設置を促進するとともに、関係団体への支援を行います。	グループホーム11 か所(44人) 生活ホーム16施設 (107人)	17か所 (64人) 17施設 (113人)	障害者自立支援法施行により、新たな設置基準が設けられることを見込んで説明、指導等の支援を行いました。 グループホーム11か所(44人) 生活ホーム16施設(110人)		-	
障害者生活支援センター設置事業	保健福祉局 障害福祉課		障害のある人からの相談に応じるため、各区に障害者生活支援センター・精神障害者地域生活支援センターを設置します。	障害者生活支援センター 2か所 精神障害者地域生活支援センター 5か所	10か所 10か所	大宮区に障害者生活支援センターを設置し3か所となり、精神障害者地域生活支援センターの5か所とともに、障害のある人からの相談に応じました。 また、未整備地区の設置に向けて検討を行いました。		-	

「進捗状況」欄について

計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。

は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、

は、順調に進捗。 は、進捗が遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

第2章 健康・福祉の分野									
第4節 障害者の福祉向上									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
特別支援教育事業の推進(再掲3章1節)	教育委員会	指導2課	障害のある児童生徒一人ひとりに応じた適切な教育的支援を受けられるよう、市立養護学校に相談センターを整備するなど特別支援教育体制構築に向けた取り組みを進めます。	特殊学級設置校数 35校 通級指導教室設置校 6校	43校 10校 推進	障害のある児童生徒一人ひとりに応じた適切な教育的支援が行えるよう策定委員会を設置し、軽度発達支援や就学の市の方向性を検討しました。また、平成18年度中の開設を目指し、市立養護学校内相談センターの準備を行いました。		11 軽度発達障害を含む、障害のある児童生徒とその保護者を支援するため、専門的な相談室を養護学校に設置します。	
知的障害者援護施設整備促進事業	保健福祉局	障害福祉課	知的障害者の社会的自立の支援や職業訓練を行う、通所型の更生施設・授産施設の整備を促進し、養護学校卒業後の通所受入れ先を確保します。	養護学校卒業生の通所受入れ先 11か所	16か所	さいたま市障害者計画に沿って施設建設を行う社会福祉法人に対し、施設整備費の補助を行いました。 通所受入れ先は、1か所整備して12か所となりました。		-	
障害者就労支援事業(再掲5章3節)	保健福祉局	障害福祉課	就労機会の拡大や職場定着を図るため、障害者就労支援センターを設置するとともに、福祉的就労先である授産施設や小規模作業所の運営を支援します。	養護学校等卒業生の就労率(福祉的就労を含む) 25%	40%	障害者総合支援センターの設計を完了しました。就労支援体制づくりについては、養護学校の進路指導会議に参加し、情報交換、協議を行うとともに、就労支援の検討委員会を設け、支援体制及び事業の検討を行いました。 養護学校等卒業生の就労率(福祉的就労を含む)25%		42 (仮)障害者総合支援センターを拠点として就労支援体制を構築し、障害者の就労促進を図ります。	平成16年度の養護学校等卒業生の就労率(福祉的就労を含む)は、21%でした。
障害者のスポーツ参加の推進(再掲3章3節)	保健福祉局	障害福祉課	障害者のスポーツ活動の促進のため、全国障害者スポーツ大会等に参加するとともに、障害者スポーツ教室の開催、障害者の交流の場であるふれあいスポーツ大会についても充実を図ります。	初級障害者スポーツ指導員養成0名 推進	120名 推進	障害者のスポーツ活動の促進のため、初級障害者スポーツ指導員24名を養成しました。		-	
公立障害者施設整備事業	保健福祉局	障害福祉課	障害者が地域で生活するため、就労支援や生活支援、授産支援を行うとともに、障害者の社会参加を推進する(仮)障害者総合支援センターを設置し、障害者の総合的支援を行います。	検討	(仮)障害者総合支援センター開設(19年度)	建設用地の取得を行い、基本・実施設計が完了しました。		-	

「進捗状況」欄について  
 計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。  
 は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む)。  
 は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画  
 ~マニフェスト工程表~の内容です。

第2章 健康・福祉の分野									
第5節 健康づくりの推進と医療の充実									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
健康づくり推進事業	保健福祉局 健康増進課		健康づくりに関する情報提供や健康づくりに取り組む団体の活動の支援・ネットワークづくりなどの体制の整備を行い、地域における市民の主体的な健康づくりを推進します。	推進	推進	市民、民間団体及び行政が一体となって健康づくりを推進する行動計画である「ヘルスプラン21」の普及・啓発、及び、健康づくり関連のチラシの作成・配布を行いました。また、この計画を中間評価するために、健康についての調査を行いました。			
保健所等複合施設整備事業	保健福祉局 保健施設準備室		保健所と保健衛生・環境公害などの検査研究機関をあわせ持つ複合施設を整備します。	事業中	開設 (19年度)	保健衛生会館の建設工事を、予定どおり実施しました。また、保健施設準備室に技術職員を配置し、埼玉県衛生研究所等への派遣研修を実施しました。		40 (仮)保健衛生会館を平成19年4月1日に開設します。	
(仮)さいたま市民医療センター整備事業	保健福祉局 病院建設準備室		大宮医師会市民病院の病床数240床を基礎に、100床を増床して公設民営形態による病院を市の西部に整備します。	検討	開設	実施設計及び実施運営計画の策定を行いました。なお、その後の調査で、建設工事の際の残土が造成工事用の盛土等に転用できることが判明したことにより、効率性の観点から造成工事は平成18年度に建設工事の中で行うことになりました。		40 (仮)さいたま市民医療センター(医師会運営病院)を平成20年度に開設します。	
市立病院機能の再整備事業	市立病院事務局庶務課		市民の医療ニーズに的確に対応していくため、老朽化の目立つ東病棟の建替えを含めた市立病院機能の再整備を図り、あわせて、市立病院の救急医療体制のあり方を検討します。	構想・検討	マスタープラン 策定	平成19年度に予定している基本構想・基本計画の策定に向けて、長期的観点から地域の医療環境、医療需要予測、当院の課題などソフト面について総合的な基礎・実態調査を実施しました。		43 市立病院機能を再整備し、救急部門を充実します。	

「進捗状況」欄について  
 計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。  
 は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、  
 は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び  
 理想都市実現に向けた行動計画  
 ~マニフェスト工程表~の内容です。



第2章 健康・福祉の分野									
第5節 健康づくりの推進と医療の充実									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
各区の緊急医療体制の整備	保健福祉局 健康増進課		市民の暮らしの安全安心を確保するため、各区役所や公共施設への自動体外式除細動機(AED)を配置するとともに、緊急時に備えた救急救命講習会(AEDの取扱いを含む。)を実施します。	検討	推進	平成17年11月の八都府市首脳会議で、「首都圏における救急救命に関する環境の整備の推進について」の緊急提案を行い、共同でAEDの普及啓発に向けた基本方針及びマニュアルを作成しました。		44 緊急時における医療体制の整備について検討を進めます。	
小児救急医療体制の充実・強化(再掲2章2節)	保健福祉局 健康増進課		(仮)さいたま市民医療センターによる小児二次救急医療の強化や、自治医科大学と他の医療機関との周産期医療における連携強化を図るなど、小児救急医療体制の充実を図ります。	推進	充実	平成17年4月から、浦和休日急患診療所の平日夜間診療時間を30分延長しました。また、今後の医療体制の方向性を検討するため、医療関係者等で構成する「医療体制検討会」を平成18年3月に立ち上げ、小児救急電話相談などの具体的方策の検討を開始しました。 (仮)市民医療センター及び自治医科大学附属大宮医療センター南館は、平成20年度開設に向け準備を進めています。		8 小児救急医療に適切に対応していくため、更なる診療体制の充実に向けた取り組みを開始します。  36 小児救急医療に適切に対応していくため、医療機関の機能に応じた役割分担により、医療体制の充実を図ります。	
保健医療・防疫システムの整備	保健福祉局 健康増進課		医療機関と保健所の連携により新型インフルエンザ対策などを進めます。また、県システムとの連携を含め、救急情報システムを構築します。	推進	充実	(仮)健康科学研究センターは平成19年度開設に向け、(仮)市民医療センターは平成20年度開設に向け準備を進めています。また、感染症対策分野では、新型インフルエンザの医療確保対策として、公的病院に患者対応を要請するとともに、新型インフルエンザ対策行動計画及びマニュアルを作成しました。		97 市民が安心・安全に暮らせるように保健医療・防疫システムの充実を図ります。	

「進捗状況」欄について

計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。

は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、

は、順調に進捗。 は、進捗が遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成 17 年度 実施状況 一覧表

第2章 健康・福祉の分野									
第6節 食品の安全性と生活環境の向上									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
食の安全確保対策事業	保健福祉局 食品環境安全室		食に対する市民の不安を解消し、安心した食生活を送れるよう、情報提供や相談対応の充実、食の安全委員会の開催など、食品監視指導や検査を行い、総合的な食の安全対策を進めます。	推進	推進	食の安全委員会を年4回開催しているほか、市民向けの安全啓発事業として、食の安全フォーラム、食の安全市民モニター、親子「食」のおもしろ発見・体験教室などの事業を開催するとともに、消費者や事業者の意見を聴取して食品衛生監視指導計画を策定しました。		99 総合的な食の安全対策を進めます。	
市場流通食品HACCP導入促進事業	保健福祉局 保健所環境衛生課		食品の衛生管理の強化のため、大宮・浦和市場へのHACCPによる衛生管理方式の導入を促進します。	促進	導入	卸・仲卸業者を対象に、市場流通食品の品質管理、衛生管理に関する講習会を2回開催した後、各作業チームごとに作業会議を2回程度開催し、危害分析を進めました。		99 市場流通食品の安全性を確保するため、大宮・浦和市場へのHACCP方式の概念による衛生管理の導入を促進します。	
動物愛護推進事業	保健福祉局 生活衛生課	保健福祉局 保健施設準備室	人と動物がふれあえる共生社会を実現するため、動物の飼養に関する基本事項などを内容とする(仮)動物の愛護及び管理に関する条例を制定するとともに、動物愛護ふれあいセンターを整備します。	事業中	(仮)動物の愛護及び管理に関する条例制定 (18年度) 動物愛護ふれあいセンター開館 (18年度) 推進	国における関連法の改正(平成17年6月)及び政省令の公布・告示(平成18年1月)を踏まえた、実効性のある条例案を検討しました。それに合わせてパブリック・コメントを実施し、116件の市民意見をいただきました。また、動物愛護ふれあいセンター建設工事を行い、開館に向けて準備を行いました。		14 「動物愛護及び管理に関する条例」を、(仮称)動物愛護ふれあいセンターの開設に合わせ、平成18年3月に制定します。	

「進捗状況」欄について

計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。

は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、

は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。